



○ 多くの人工林が資源として利用可能な時期となる中で、森林の**公益的機能を発揮しつつ、この豊かな資源の循環利用を図り、健全な森林を次世代に継承**するとともに、地域の森林・林業を担う**人材の育成**や**効率的な作業システムの確立**が重要な課題。四国森林管理局は、その**組織・人材・資源を最大限に活用し、地域の林業成長産業化**や**森林の公益的機能**の発揮に引き続き貢献。

人材育成への取組

- ・現地検討会の開催など、林業事業体の育成に取り組めます。
- ・森林総合監理士活動の推進・活性化に取り組めます。
- ・市町村の林務行政への技術的支援を行います。
- ・将来の森林・林業を担う人材の育成を支援します。



▲車両系集材に関する現地検討会



▲大型ドローンによる苗木運搬の現地検討会



▲ドローンの活用に関する現地検討会



▲「こじゃんと1号」を活用した獣害対策研修



▲高知県立林業大学校へのシカネット設置実習



▲インターンシップの受け入れ

※写真は令和2年度の実施状況

林業成長産業化への貢献

造林の低コスト化と木材生産の収益性の向上

- ・造林の低コスト化に向け、伐採と造林の一貫作業システム、コンテナ苗の活用、下刈りの省力化、ICTの活用、集約化試験団地での実証などに取り組めます。
- ・木材生産の収益性の向上を図るため、列状間伐やシステム販売の実施、民国連携した木材供給等に取り組めます。



▲列状間伐の実施



▲令和2年度に整備した竹島土場（高知県四万十市）

獣害対策の推進

- ・囲いワナ等によるシカ捕獲や四国森林管理局が開発した「こじゃんと1号」、「こじゃんと2号」の普及・PRに取り組むなど、シカ被害対策を推進します。
- ・防護柵及び忌避剤を用いた試験の実施など、ノウサギ被害対策を推進します。



▲シカ捕獲用小型囲いワナ「こじゃんと2号」（四国森林管理局が開発）



▲シカとノウサギ被害防止兼用ネットの試験状況

国土強靱化

災害に強い国土づくり

- ・平成30年7月豪雨の被害からの復旧として、徳島県三好市及び高知県大豊町において、吉野川上流地区民有林直轄治山事業に新たに着手します。
- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として、災害時に備え、迂回路としても活用可能な特に重要な林道の整備・強化等を推進します。



▲平成30年7月豪雨による山腹崩壊状況
左：根津木区域（徳島県三好市）



右：立川下名区域（高知県大豊町）



▲四国山地災害初動対応等強化会議の様子（令和2年度の様子）

森林の多面的機能の充実

国民に親しまれる森林や資源の活用

- ・日本美しい森 お薦め国有林の魅力発信や、観光・産業資源への資材供給に取り組めます。
- ・多様な森林づくり“見える化プロジェクト”として、育成複層林施業及び針広混交林への誘導等多様な森林づくりに取り組みます。



▲石鎚風景林（愛媛県西条市）